

セッションNo.	テーマ	オーガナイザー
1S01	糖鎖シグナル:糖鎖とその受容体を介したシグナル伝達	門松 健治(名古屋大学)、北川 裕之(神戸薬科大学)
1S02	動物発生におけるシグナル拡散の制御	高田 慎治(岡崎統合バイオサイエンスセンター)、松尾 勲(大阪府立母子保健総合医療センター研究所)
1S03	『亜鉛シグナル』:細胞機能と疾患における分子機序	深田 俊幸(理化学研究所)、神戸 大朋(京都大学)
1S04	アミノ酸の新規機能と病態連関のニューフロンティア	小田 裕昭(名古屋大学)、門脇 基二(新潟大学)
1S05	小胞体とオルガネラの接触領域の役割	多賀谷 光男(東京薬科大学)、藤本 豊士(名古屋大学)
1S06	精密構造に基づく生体光エネルギー変換の分子機構	沈 建仁(岡山大学)、野口 巧(名古屋大学)
1S07	細胞形態形成の分子メカニズム	米村 重信(理化学研究所)、月田 早智子(大阪大学)
1S08	アジアから発信する脂質生物学	横溝 岳彦(順天堂大学)、深見 希代子(東京薬科大学)
1S09	高次生命体構築に果たす膜交通の役割	松岡 健(九州大学)、中野 明彦(東京大学)
1S10	神経幹細胞の動態～発生初期から成体まで～	後藤 由季子(東京大学)、中島 欽一(奈良先端科学技術大学院大学)
1S11	生体防御の情報伝達と制御:その進化と生化学	川畑 俊一郎(九州大学)、倉田 祥一郎(東北大学)
1S12	低酸素応答が制御する多彩な生命現象 –生理機能の解明から疾患に迫る–	中山 恒(東京医科歯科大学)、南嶋 洋司(慶應義塾大学)
1S13	プロテアソーム:タンパク質分解の分子基盤と疾患・バイオリジー	村田 茂穂(東京大学)、川原 裕之(首都大学東京)
1S14	がん代謝:がん研究の新たな展開	曾我 朋義(慶應義塾大学)、小川 誠司(東京大学医学部附属病院)
1S15	生体膜リン脂質の新たな個性に迫る	新井 洋由(東京大学)、久下 理(九州大学)
1S16	疾患克服を目指したケミカルバイオリジー	浦野 泰照(東京大学)、山東 信介(九州大学)
1S17	ミトコンドリアの動的な構造・機能変換とその生理機能	石原 直忠(久留米大学)、中田 和人(筑波大学)
1S18	深化する構造生物学	神田 大輔(九州大学)、稲垣 冬彦(北海道大学)
2S01	生命機能を制御するノンコーディングRNA	谷 時雄(熊本大学)、塩見 美喜子(慶應義塾大学)
2S02	トランスオミクスで探る細胞システムの構築原理	伊藤 隆司(東京大学)、黒田 真也(東京大学)
2S03	新規脂質メディエーターが制御する多彩な機能	杉本 幸彦(熊本大学)、青木 淳賢(東北大学)
2S04	G蛋白質共役型受容体(GPCR)およびGPCRキナーゼの機能不全によって引き起こされる疾患	黒瀬 等(九州大学)、平澤 明(京都大学)
2S05	脱”糖鎖生物学”-糖鎖が織りなす様々な生命現象の解明に向けて-	鈴木 匡(理化学研究所)、大坪 和明(理化学研究所)
2S06	ヒストンの多様性とクロマチン機能制御機構	胡桃坂 仁志(早稲田大学)、木村 宏(大阪大学)
2S07	高次生命機能制御に関わるレドックスシグナル	三木 裕明(大阪大学)、西田 基宏(九州大学)
2S08	オートファジー:発見から50年	大隅 良典(東京工業大学)、水島 昇(東京医科歯科大学)
2S09	転写と代謝:現象から構造までの複合的理解	森川 耿右(京都大学)、五十嵐 和彦(東北大学)
2S10	免疫系のシグナル伝達と疾患	吉村 昭彦(慶應義塾大学)、米山 光俊(千葉大学)
2S11	膜脂質の合成、集積-細胞機能との関わり-	清水 孝雄(東京大学)、平田 雅人(九州大学)
2S12	分子標的トランスポーター	金井 好克(大阪大学)、植田 和光(京都大学)
2S13	生体遷移金属のパラダイムシフト:生体内シグナル分子としての機能	石森 浩一郎(北海道大学)、佐上 郁子(京都府立大学)
2S14	こころの生化学	内匠 透(広島大学)、橋本 均(大阪大学)
2S15	運動超分子マシナリーの機能メカニズム	小嶋 誠司(名古屋大学)、森 博幸(京都大学)
2S16	ミトコンドリア応答性から見る細胞機能解析:ミトコンドリア研究の新しい視点	柳 茂(東京薬科大学)、康 東天(九州大学)
2S17	自己由来成分に対する「自然炎症」	牟田 達史(東北大学)、三宅 健介(東京大学)
2S18	生命活動における高次エピゲノム制御の分子基盤	佐々木 裕之(九州大学)、中尾 光善(熊本大学)
2S19	フロリゲン研究の新展開:その分子構造と新規な機能	島本 功(奈良先端科学技術大学院大学)、木下 俊則(名古屋大学)
2S20	細胞の増殖と運動の協調的制御による組織形態形成とその破綻による病態	菊池 章(大阪大学)、佐邊 壽孝(北海道大学)
3S01	レドックスシグナルと酸化ストレス研究の最前線	赤池 孝章(熊本大学)、住本 英樹(九州大学)
3S02	クラシックなステロイドから新たな内分泌制御への展開	下東 康幸(九州大学)、諸橋 憲一郎(九州大学)
3S03	宇宙における一般生化学への道	山岸 明彦(東京薬科大学)、田村 浩二(東京理科大学)
3S04	少数性:生化学の新たな視点	今田 勝巳(大阪大学)、野地 博行(東京大学)
3S05	Gタンパク質シグナルの最前線	加藤裕教(京都大学)、紺谷 園二(東京大学)
3S06	細胞周期進行とゲノムの安定な維持を支える染色体イベントの酵素学的合成生物学的再構築による解明	正井 久雄(東京都医学総合研究所)、片山 勉(九州大学)
3S07	拡大・高深化する細胞内リン酸化ワールド	石濱 泰(京都大学)、木下 英司(広島大学)
3S08	mRNAの安定性制御によるシグナル伝達調節	山本 雅(沖縄科学技術大学院大学)、久場 敬司(秋田大学)
3S09	オルガネラ研究の新展開:オルガネラスタシス	藤木 幸夫(九州大学)、遠藤 斗志也(名古屋大学)
3S10	ペールを脱いだユビキチン系の新機能	中山 敬一(九州大学)、岩井 一宏(京都大学)